

神を愛し追い求める者、また神を真に礼拝する者となって、
神の生ける言葉で構成され、神を輝かしく表現する

聖書：詩 119:1-2, 11, 14-16, 47-49, 54, 58, 97-99, 103, 114, 130, 132-133, 140

I. わたしたちは神を追い求める詩篇の作者の模範に従い、神を愛し追い求める者、また神を真に礼拝する者となって、神の生ける言葉で構成され、神を輝かしく表現する必要があります——詩 119:1-2, 130, 132-133. ヨハネ 4:24. II コリント 3:15-18. ピリピ 2:15-16：

A. わたしたちは神を愛するので、彼の生ける言葉も愛します。それは彼の実質をわたしたちの中に注入して、神をもってわたしたちを輝かせます：

1. モーセはホレブ山（シナイ山）の頂上にいたとき、努力し働いて律法の要求を満たそうとしていませんでした。むしろ、彼は神が彼と語ることによって神をもって注入されたのであり、彼の輝く顔は、神が何であるかの反映でした——出 34:28-29. 参照、II コリント 3:18 — 4:1。

2. 神は、努力して律法を守る人々を欲していません。彼は、彼を表現し、彼に栄光を得させる輝く人々を欲しています——士 5:31. マタイ 5:14-16. 13:43。

3. 神と彼の言葉を愛し、彼と一になる人は、神・人の生活をして、神のかたちを持ち、神の描写、また神の複製となります——詩 116:1-2. 119:47-48, 97-99, 113, 119, 127, 132, 140, 159, 163, 165, 167. ローマ 8:4. ピリピ 2:15-16。

B. 神の生ける言葉を通して神の実質が注入されることによって、わたしたちは神を真に礼拝する者、神が何であるかにしたがい、神が何であるかに符合し、神が何であるかを反映して、彼に栄光を得させる者となります——ヨハネ 4:24. 5:39-40. II コリント 3:15-18。

II. 詩篇第 119 篇は、神の証した神の言葉としての神の律法に対する、神を追い求める者の態度を表明します：

A. 彼らは神の言葉を信じます—— 66 節。

B. 彼らは神の言葉を選びます—— 30, 173 節。

C. 彼らは神の言葉に手を上げます—— 48 節前半。

D. 彼らは神の言葉を愛します—— 47-48, 97, 113, 119, 127, 140, 159, 163, 165, 167 節。

E. 彼らは神の言葉を喜びます—— 16, 24, 35, 47, 70, 77, 92, 174 節。

F. 彼らは神の言葉を味わいます—— 103 節。

G. 彼らは神の言葉に歓喜します—— 14, 111, 162 節。

H. 彼らは神の言葉を歌います—— 54 節。

I. 彼らは神の言葉を重んじます—— 6 節。

J. 彼らは神の言葉の中で完全な心を持ちます—— 80 節。

K. 彼らは神の言葉に心を傾けます—— 36 節。

L. 彼らは神の言葉を求め（45, 94 節）、それを慕い（20, 40, 131 節）、祈りをもってそれを望み（43, 74, 114, 147 節）、それに信頼します（42 節）。

M. 彼らは神の言葉を思い巡らします—— 15, 23, 48, 78, 99, 148 節。

- N. 彼らは神の言葉を熟考します—— 95 節後半。
- O. 彼らは神の言葉をすべての事について正しいとします—— 128 節前半。
- P. 彼らは神の言葉の中に入ります—— 130 節。
- Q. 彼らは神の言葉を学びます—— 71, 73 節。
- R. 彼らは神の言葉を尊びます—— 14, 162, 72, 127, 111 節。
- S. 彼らは神の言葉を心に蓄えます—— 11 節。
- T. 彼らは神の言葉を思い出して、それを忘れません—— 49, 52, 93 節。
- U. 彼らは神の言葉を畏れます—— 161 節後半, 120 節。
- V. 彼らは神の言葉を堅く守ります—— 31 節。
- W. 彼らは神の言葉を捨てず、そこから逸れず、そこから離れず、そこから迷い出ません—— 87, 51, 157, 102, 110 節。
- X. 彼らは彼らの足を神の言葉に向けます—— 59 節。
- Y. 彼らは神の言葉を守り、順守し、行ないます—— 33, 69 節。
- Z. 彼らは神の言葉に歩み、神の言葉の道を走ります—— 1 節, 32 節前半。

Ⅲ. 神の生ける言葉の真理で構成されるために、わたしたちは神と協力して、以下の有機的な原則を実現しなければなりません：

- A. 神の言葉は人のアーメンを要求します。神の言葉に手を上げるとは、わたしたちがそれを温かく喜んで受け入れ、それにアーメンを言うことを示します—— I コリント 14:16. II コリント 1:20. 啓 3:14. 19:4. 詩 119:48. ネヘミヤ 8:5-6。
- B. わたしたちは神の御言に来るとき、自分の心を対処して、わたしたちと主との間に何もないようにしなければなりません——マタイ 5:8. 使徒 24:16. 参照、エゼキエル 1:22。
- C. わたしたちは神の御言に来るとき、へりくだって、自信と自己確信をわきへやり、主がわたしたちをあわれんでくださるように祈らなければなりません——マタイ 5:3. 詩 51:1. I ペテロ 5:5-6。
- D. わたしたちは神の御言に来るとき、自分の全存在を訓練しなければなりません——詩 119:2, 10, 58. 申 10:12. マルコ 12:28-30。

Ⅳ. 神の生ける言葉の真理で構成されるために、わたしたちは神と協力して、以下の生活の実行を維持しなければなりません：

- A. わたしたちは一定の時間と一定の場所を取っておいて、日ごとに神の御言の中で彼と交わらなければなりません——詩 119:147-148. 詩歌, 568 番と 586 番：
 - 1. わたしたちは霊をもって主の言葉に触れ、彼との継続的な交わりの中にとどまる時、聖書の言葉によって浸され、温められ、新鮮にされ、潤され、供給されているという感覚を持つべきです——エペソ 5:26。
 - 2. 一節ごと祈りをもって、祈りの中で、祈りによって、祈りを通して読むとき、わたしたちは神の臨在の内なる甘さに満ちるでしょう——詩 43:4 前半. 119:57-58, 114。
- B. わたしたちは規則正しく日ごとに聖書を読まなければなりません。聖書を読むことはわたしたちの命にとって必要です——マタイ 4:4. I ペテロ 2:2. 詩 119:103, 105. II テモテ 3:15-17。

- C. わたしたちは日ごとに務めの言葉を読まなければなりません——「もしあなたの地方のある聖徒が『正しく』なくても、明日の朝からライフスタディメッセージを読み始めて五百に達するなら、彼は別人になるでしょう。薬、栄養、あらゆる種類のビタミンが、これらのメッセージに含まれています」——長老訓練、第3巻：ビジョンを遂行する道、第10章。
- D. わたしたちは預言する生活をして、キリストのからだを建造しなければなりません。わたしたちは祈り読みし、研究し、暗唱し、預言することを訓練しなければなりません。わたしたちは暗唱できるものをもって預言すべきです。暗唱できるものは研究したものです。研究したものは祈り読みしたものです——Ⅰコリント 14:4 後半, 31。
- E. 時間を費やして日ごとに主の御言の中で、祈りをもって読み、研究し、主と交わることによって、わたしたちは徐々に彼の言葉を心の中に「蓄え」、主はわたしたちの心の「良い倉」となります。こうして、わたしたちの心の満ちあふれたものから、恵みの言葉が出て来て、召会を建造し、わたしたちの舌は速やかに物書く人の筆となり、キリストを人の中に供給して、彼らがキリストの生ける手紙となり、キリストの表現と栄光となることができるようにします——詩 119:9-11. マタイ 12:34-35. ルカ 4:22. エペソ 4:29-30. 詩 45:1-2. Ⅱコリント 3:3。